

新 入 生 歡 迎 企 画 09


私が薦めるこの本！

新入生・新入職員のみなさん、滋賀医大へようこそ！

図書館では、本学の教員、附属病院で医療に携わる方々から資料を推薦していただき、新入生歓迎企画“私が薦めるこの本！”と題したフェア（図書展示）を開催しました。（2009年4月7日-6月1日）


これから医療人となるべく一歩を踏み出すあなたの、人生の指針となる本が見つかるかもしれません。

* * * * *



生化学・分子生物学講座
分子病態生化学部門
図書館長
大久保 岩男 教授

- 1*. 医学を学ぶための生物学
- 2*. 東大教師が新入生にすすめる本2
- 3*. 医学生 南木佳史 著




臨床看護学講座
老年
太田 節子 教授

- 1. 新しいかた上手 日野原 重明 著
- 2*. ナイチンゲール著作集



生命科学講座
生命情報学
小森 優 教授

- 1*. Core Memory - ヴィンテージコンピュータの美 John Alderman 著



医療情報部
永田 啓 教授

- 1*. ジェネラル・ルージュの凱旋 海堂 尊 著
- 2. Dr.コトー診療所 山田 貴敏 著
- 3*. 脳を活かすシリーズ 勉強法・仕事術・生活術 茂木 健一郎 著

先生からのコメント

1, 2は医療の現場・医科大学の現場を垣間見ることができる内容。医療はつねに変化し続けるとともに不変の部分もある。それをどう自分の中で帳尻をつけてゆくかが医師・ナースの一生の課題。読んで自分なりの考えを持つように。

3. あらゆる事象は五感によってとらえられ、脳で情報処理される。ポジティブに生きるのも、うしろ向きに感じるのも本人の脳次第。でも人は変わることができる。それは、脳のもつものすごい柔軟性による。どう生きるか、どう変わるかも本人次第なので、脳を知ってほしい。

☆ 番号の横に *の付いているものは、滋賀医大の図書館にあるものです。ぜひ読んでみてくださいね！



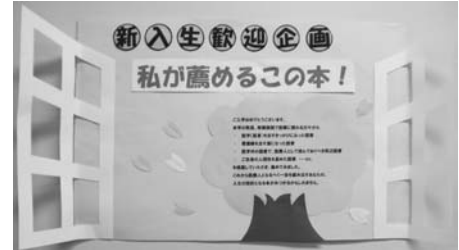
生命科学講座
生物学

佐藤 浩 教授

- 1*. 幸福論 ヒルティ 著
*(羊の歌、続羊の歌 加藤 周一 著)
- 2. エッセー モンテーニュ 著
- 3*. 正法眼蔵随聞記(訳)
懐奘 著 水野 弥穂子 訳

先生からのコメント

1. 第一部を大学1.2年の時に繰り返し読みました。人生の座標を作ってもらったような気がしています。この本と加藤周一の「羊の歌」が青春時代に印象に残った本です。
2. 二十代の最後に出会いました。6冊とも、どこから読んでも楽しめます。ヨーロッパの知的伝統を垣間みたような気がしました。訳も読みやすく特に分冊の(六)が好きです。
3. 四十代に出会いました。学問の厳しさを思い知りました。もっと若い時に読みたかった。



医療文化学講座
英語

相浦 玲子 教授

- 1. バイロン伝 アンドレ・モーロワ 著
- 2*. 文芸の哲学的基礎、現代文明論
(漱石全集第11巻所収) 夏目 漱石 著
- 3*. シッダールタ ヘルマン・ヘッセ 著

先生からのコメント

1. 高校時代に読んで、詩人の生き方、時代背景、文学の伝統、ヨーロッパ文化のつながりなどに興味を持ちました。
2. 漱石は英文学者であり、当時まだ数少なかった日本から英国への留学生の一人で、そこで見た文化や文明を鵜呑みにすることなく、かえって疑問を呈し独自の先見でわれわれの将来に警告を発していたことは驚きに値すると思います。特に医療人としてという訳ではないかもしれませんが、今もって日本の知性の代表の一人の見方として、学ぶところ大であろうと思います。
3. 留学中に気がめいつているときに、人に勧められて読んで心が洗われ、救われる思いがしました。英訳で読みましたが、その訳もわかりやすく、すばらしかったと記憶しています。



神経内科
医員(レジデント)

伊藤 隆洋 Dr.

- 1*. 神経内科ハンドブック
- 2*. ワシントン・マニュアル
- 3*. 韓非子 富谷 至 著

先生からのコメント

1. 神経内科の必需品です。
2. とりあえずこれです。何かあったらこれです。
3. 昔の中国の人はなかなかいいこと、面白いことを言うなあと思います。



ご協力くださいました先生方に、あらためて御礼申し上げます。
どうもありがとうございました！！